



学校・家庭・地域をつなぐ

塩浜小 学校だより

令和3年5月31日

No.7

「授業参観」 中止させていただきます・・・

5月28日(金)に緊急事態宣言が延長されたのを受け、三重県でも発令中の「三重県まん延防止等重点措置」が6月20日(日)まで延長されました。「塩浜小学校だより No.5」でお伝えさせていただきましたように、6月4日(金)に予定していました授業参観を中止させていただきます。学校としましても、子どもたちが活躍する姿を保護者の皆様にご覧いただくよい機会と思っておりましたので、とても残念ではございますが、子どもたちの安全を第1に考え、中止させていただくこととしました。ご理解いただきますようお願いいたします。なお、そのほかの学校行事につきましては、感染対策を行いながら予定通り実施していく方向で考えています。

子どもたちの学校での様子を、「塩浜小学校ホームページ」でご覧いただけるよう、各学年から発信させていただこうと考えています。お時間がありましたら、是非ホームページをご覧ください。



「学び舎音楽会」 ～マリンバ プラス～

5月25日(火)、「学び舎音楽会」を体育館で開催しました。今回は、「マリンバプラス（前川あやなさん、鎌田かおりさん、トラヤノフヴェスコさん、庭山

さやかさん）」という4名の演奏家の皆さんにお越しいただき、マリンバの演奏を聴かせていただきました。「ドレミの歌」や「おもちゃの兵隊」「つるぎの舞」「さんぽ」「崖の上のポニョ」「紅蓮華（鬼滅の刃）」など、子どもたちに馴染みのある曲を選んで演奏していただきました。途中で、マリンバという楽器について教えてもらったり、クイズを出してもらったり、最後には、塩浜小学校の校歌を演奏していただくなど、楽しい時間を過ごすことができました。会場に入る人数を100人以下にするため、2回に分けて演奏していただいたおかげで、子どもたち同士の間隔も1メートル以上あけることができ、安全な環境で聴かせていただくことができました。

子どもたちは、「木琴みたいだね」「大きいね」「音が低いよ」「お腹に響いてきた」など、マリンバの優しくて柔らかい、そして迫力のある音色に癒されながら、首や体を横に振ったり、膝うちしたり、胸やお腹や叩いたりして、一人ひとりが自分のやり方でリズムを感じながら、音楽を愉しむことができました。

「図書館まつり」 5/31~6/11



新学期が始まり、2 か月が経とうとしています。どの学級もそれぞれ軌道に乗り、教師や友だちの話を落ち着いた雰囲気の中で聴き合うことができるようになってきました。

毎朝、15 分間の朝学習では、月・金は読書、火・水・木の3 日間は基礎学力を定着させるための学習を行っています。昨年度の「学校アンケート」では、「進んで読書をしている」と回答した児童が 65%、保護者の方は 36% と、子どもたちの読書活動に課題が見られました。とくに、昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、図書館ボランティアの募集を中止したり、密を避けるため図書館まつりを縮小したりと、子どもたちが本に親しむ機会を制限してしまったのではないかと考えています。

今年度は、四日市市より「読書活動推進校」の指定を受け、子どもたちが図書室に行きたいと思えるよう掲示物を工夫したり、図書館司書や 5・6 年生の図書委員によるブックトークや読みきかせを行ったり、図書館の本を充実したりするなど、子どもたちが進んで読書をしようとする環境をつくり、心豊かな子どもの育成に取り組んでいきたいと考えています。

そこで、5 月 31 日(月)~6 月 11 日(金)に、今年度 1 回目の「図書館まつり」を計画しました。この期間は、図書館の本を 1 人 2 冊借りることができます。図書委員による図書館クイズや読書 1 分間スピーチのほか、「家庭読書」にも取り組む予定です。「家庭読書」は、ご家庭でお子さんに読み聞かせをしていただく、1 冊の本を親子で交替で読む、同じ部屋(空間)に親子でいてそれぞれが自分で本を読むなど、やり方は様々です。お忙しいとは思いますが、各ご家庭に合った方法で、家族で本を読む機会を設けていただきますようお願いいたします。



【本を読むことで・・・】



まず、お子さんの興味のある本から、チャレンジしてみましょう。

1 集中力が養われる

小学生が本を読むと集中力が付き、大人になっても忍耐力が養われる。その結果、脳にも良い影響を与え、学力が高い傾向にあることが統計的に分かっているそうです。

2 人の気持ちを理解できるようになる

読書は、文字を読み進めながら、情景を想像したり登場人物の心情を理解したりしていくため、人の気持ちを理解できるようになります。そして、コミュニケーション力や社会性が育まれ、スムーズな人間関係を築く能力も高まっていくそうです。

3 言語能力がつく

小学生から読書習慣がある子どもは、正しい言葉遣いができるようになり言語能力もつきまします。小学生から多く単語や漢字に触れることで、読解力が身につく、語彙力も蓄積されるそうです。ですから、読書習慣のある小学生は、全く読書しない子どもよりも成績が良い傾向にあると言われています。